

「わたしの提案(町長への手紙)」

※回答を希望される場合は、氏名、住所、電話番号を必ず記入してください。

※ご提案内容を記入してください。

令和6年5月23日

(必須)

件名

町に出産する病院かたについて

(必須)

問題または課題

出生率減少で町の手打ち、町民の
いすか、寒いに出産する病院かたについて
病院探し苦労している若い世代を助けて欲しい
つわりで、大変でも何らかの補助もはき体同寛い中、胎児
補助を集めてくれるといいです

(必須)

改善案

町で、補助を出して欲しい
又、茅ヶ丘市立病院は茅ヶ丘に在る方だけ減免
か受けられと聞いています。町に、病院かた以上
他、茅ヶ丘は茅ヶ丘と寒いと支拂いしているのに
これも考えて欲しい。遠く、病院を転々とする人もいます

(必須)

改善後の効果

安いい
出産出来る、若い世代を呼び込む
1月かといふので、いいかと思います

回答を

希望する

希望しない

(どちらかに○をつけてください)

回答

<町に出産する病院がない件について>

【所管：企画政策課・子育て支援課・健康づくり課】

1点目の「町に出産病院がなく、近隣の出産のできる病院情報を町で提供して欲しい」とのご意見につきましては、近隣市で出産のできる病院の情報をとりまとめ、近くホームページに掲載させていただきます。

2点目の「寒川町民も茅ヶ崎市立病院で減免を受けられるよう考えて欲しい」とのご提案ですが、近隣市との広域連携につきましては、事業投資の効率化やより効果的なサービス、施設の整備などの広域化のメリットが期待される場合に、慎重に検討した上で実施しております。

妊娠中はつわりや気分の落ち込み等で情報を得ることが大変な方もいらっしゃいます。町内には出産ができる病院もなく、ご不安な気持ちも理解できます。また、妊娠や出産のリスクが高い方は個人の医療機関でなく、大きな病院にて出産の必要があり、茅ヶ崎市立病院にて出産を希望されることもあると思います。妊娠出産は身体的精神的だけでなく、金銭的にも負担を生じますので、少しでも町として負担軽減ができればよいとは考えますが、現状のところ、茅ヶ崎市の公の施設である市立病院を広域連携により茅ヶ崎市民と同条件で利用できるようにするには、寒川町側に相当な金銭的負担が必要となると考えられます。申し訳ありませんが、現時点ではこの分野での連携を推進することは難しいと考えます。

なお、ご指摘のとおり、出生率減少の原因の1つとして金銭的な不安があると思います。子育て世帯の方々が安心して出産・子育てできる環境にするために最適な手段を検討してまいります。

現在、寒川町では、妊娠届出時と出生届出時には、面談後にそれぞれ「出産応援・子育て応援」の趣旨で各5万円の給付金を支給するとともに、妊娠中の妊婦健診費用や出産後の産婦健診費用、生まれた赤ちゃんの新生児聴覚検査費用についても費用助成を行っております。

また、町独自の支援としまして、育児用品カタログギフト（1万円分）や紙おむつ用ゴミ袋（最大2年分）の無償配付を行っており、出生届出時にご案内するとともに、小児医療費助成制度につきましては、所得制限なく、出生時から高校3年生まで対象としております。

一方で、出産費用につきましては、令和5年度から出産育児一時金が50万円に引き上げられた中で、国において昨年12月公表の「こども未来戦略」の中で、令和8年度を目途に、その保険適用を含め、出産に関する支援等の更なる強化について検討を進めるということが示され、今後、そのための検討会が設置され議論が始まることになっておりま

す。

町といたしましては、現在行っている様々な給付金や費用助成、町独自の支援策などを通じて「安心して出産できる」「町で出産・子育てをしたい」と思っただけできるよう、努めてまいります。